

(光) 1984年 (部分)

文人

蒐集家

池上百竹亭



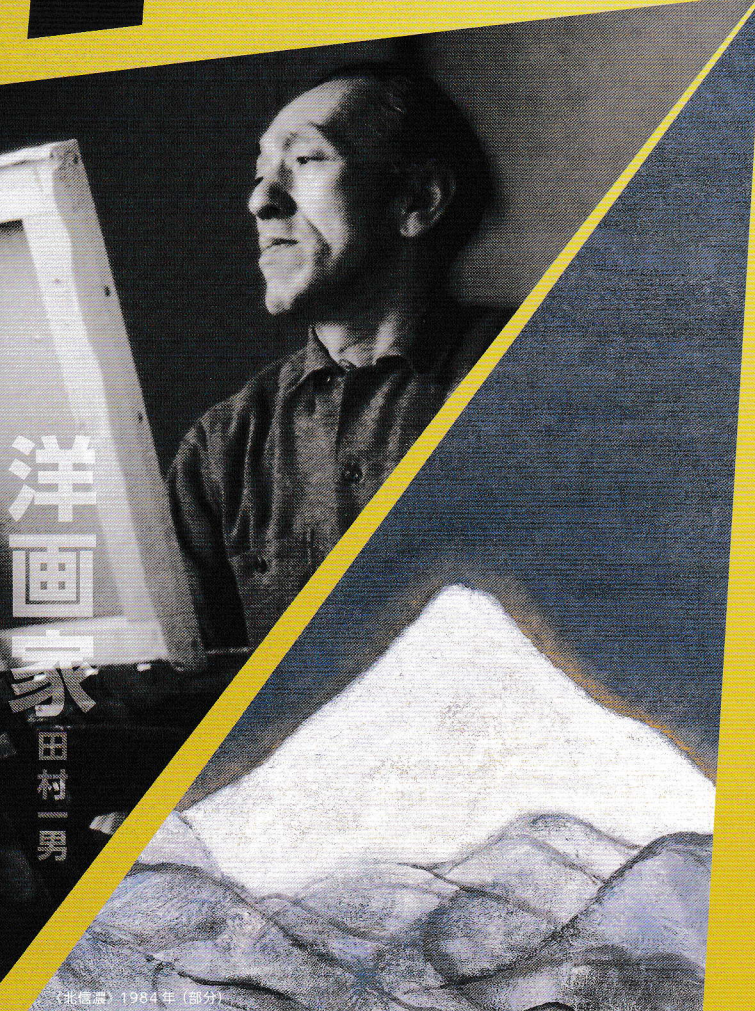
正岡子規 <子規居士臨模古絵額詠(「藤娘ほか」圖)> (部分)



書家

上條信山

トリプルアタック!



洋画家

田村一男

コレクションとの 新たな出会い

上條信山 × 池上百竹亭 × 田村一男

2016
2/13 Sat ▶ 4/3 Sun

会場 / 松本市美術館 2階 企画展示室
休館日 / 月曜日(ただし、祝日の場合は次の最初の平日)
開館時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)
観覧料 / 大人410円(310円)、大学高校生200円(100円)
※()内は20名以上の団体料金
※70歳以上の松本市民と中学生以下無料、障害者手帳携帯者とその介助者1名無料

主催: 松本市美術館 共催: 市民タイムス、松本平タウン情報
協力: 一般財団法人 松本市芸術文化振興財団、松本市美術館 友の会

 松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22 tel. 0263-39-7400 <http://matsumoto-artmuse.jp/>

(北極星) 1984年 (部分)

上條信山 × 池上百竹亭 × 田村一男

トリプルアタック!

コレクションとの新たな出会い

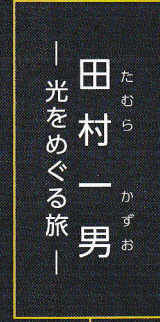
松本市美術館の核心をなす三つのコレクションから、新たな視点で捉えた作品群を展覧いたします。上條信山が厳しく追い求めた書の世界、山や高原をこよなく愛し描き続けた洋画家・田村一男の作品、そして池上喜作(百竹亭)の蒐集した文芸美術資料、これらのコレクションが一堂に会し、それぞれの魅力を声高に主張します。三人が生涯を通じて持ち続けた気概が、如何にまっすぐで輝いていたか、辿り着いた清澄な境地とは…。作品展示に底流するキーワードは、「光」。色や形態としてのみではなく、人の心根を貫くものとして、明るくのどかに温かく、ときに鋭く鮮烈に現れる「ヒカリ」を感じとってください。



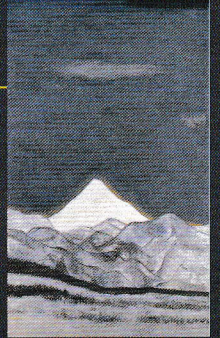
上條信山《遊月》1982年



黒田辰秋
《金鎌倉 掬梅香合》



田村一男
「光をめぐる旅」



田村一男
《北信濃》1984年



池上百竹亭
「光の春」

正岡子規
《子規居士臨模古絵題詠(「藤娘ほか」図)》
※3月8日(火)より、複製の展示となります。



田村一男《丘》1962年

上條信山
「筆墨の光」



上條信山《光》1984年

ヴィジュアルアート(視覚芸術)としての書を提唱したひとり、上條信山の書作品から、手書き文字の放つ「光」を探ります。

文人たちの遊び心溢れる池上百竹亭コレクション。その個性豊かなコレクションから放たれる「光の春」をご体感ください。

侘しい風景からにじみでる、深遠とした光。田村一男と自然との対話をとおして、「光」をめぐる旅にでかけましょう。

《 関連プログラム 》

★ワークショップ 組紐講座

「トリプルアタック!」より「光」を組む

講師：道明 三保子(文化学園大学名誉教授)

日時：3月6日(日) 13:30～16:30

会場：講座室・市民アトリエ、企画展示室

対象：小学校5年生から大人まで

定員：15名

料金：1,000円

申込：2月13日(土)から美術館へ

展覧会を鑑賞後、「光」を連想させる作品から選んだ色と同色の紐を使って、組紐ストラップを作ります。古来より伝わる組紐の技法を体験してみませんか?

★アートレクチャー 学芸講座

会場：講座室 定員：各回40名

料金：無料 申込：2月13日(土)から美術館へ

- ①「田村一男の生涯と作品」
日時：2月25日(木) 13:30～15:00
講師：武藤 美紀(当館学芸員)
- ②「池上百竹亭コレクションにみる日本書画の扱いと鑑賞」
日時：3月3日(木) 13:30～15:00
特別講師：名児耶 明((公財)五島美術館副館長)
対談者：細萱 禮子(当館学芸員)
- ③「上條信山 人と作品」
日時：3月10日(木) 13:30～15:00
講師：大島 武(当館学芸員)

★学芸員によるギャラリートーク

日時：2月21日(日)、3月20日(日) 各日14:00～

定員：20名程度

料金：無料(ただし、当日有効の観覧券が必要です)

申込：不要。会場入口前に集合。

★はじめてのびじゅつかんさんぽ

「探検!びじゅつかん!」

日時：3月23日(水) 10:30～11:00

対象：2歳から6歳のお子さんとその保護者

定員：10組

料金：無料

申込：2月13日(土)から美術館へ

ご来場の方にはすてきな鑑賞ツアーガイド(小冊子)をプレゼント!
ガイドを片手に展覧会を楽しみましょう!



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22

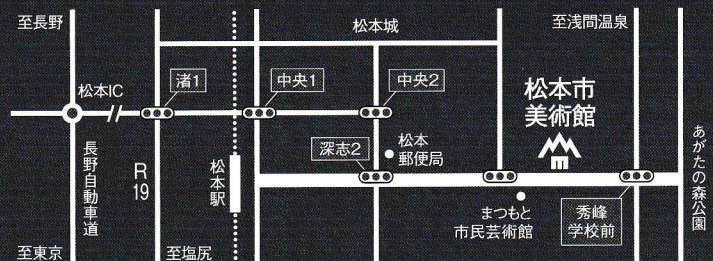
TEL.0263-39-7400

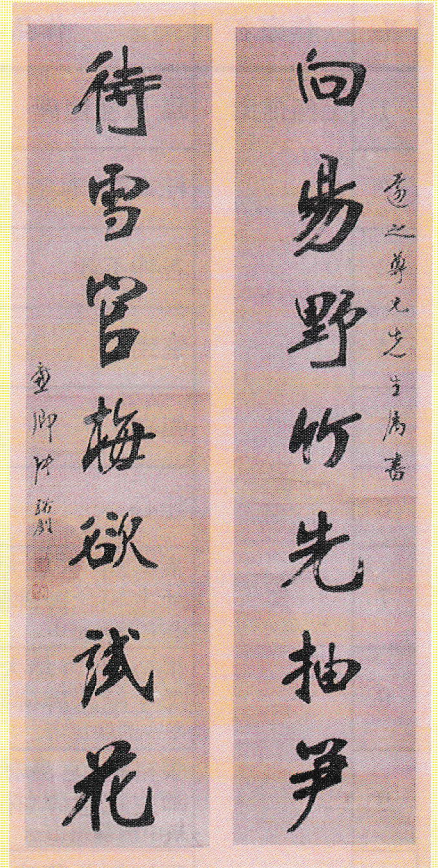
http://matsumoto-artmuse.jp/

◇松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線 5分【松本市美術館】下車

◇JR松本駅からタウンズニーカー(市内周遊バス)東コース14分【松本市美術館】下車

◇JR松本駅から徒歩12分 ◇長野自動車道松本インターチェンジから車で15分





(右) 張廉卿《七言對聯》
 (上) 宮島詠士《天高氣清》
 (左) 上條信山《張裕釗・宮島詠士
 師生紀念碑碑陽(拓本)》

源流を遡る

さかのぼ

誰しも人生において幾度かの転機を経験します。自ら強く望んで成し得た転機、成り行きに任せた偶然的な転機……。とりわけ師との出会いは、時にその後の生き方を一変させる影響があります。書の歴史、それは先人が遺した優れた書跡の積み上げと、師弟による書美の継承・発展の上に脈々と繋がる史実と言えましょう。その中で書家・上條信山は、師・宮島詠士との出会いをきっかけに自身の書を切り拓くことになりました。本展示では、上條信山「転機の書」に併せ、その書家人生の原点となった師の系譜を作品で辿ります。単なる書風の継承ではない、師弟が紡ぐ気高く深奥な書の世界をご覧ください。

上條信山記念展示室

平成28年1月19日(火)～5月8日(日)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	主要展覧会
1	上條信山	臨 張猛龍碑	昭和18年(1943)	132.1×28.8	日滿支三国展
2		杜甫詩「春望」	昭和23年(1948)	135.0×46.0	第1回毎日書道展
3		谷神不死	昭和37年(1962)	202.3×68.2	第5回新日展
4		堅勁	昭和44年(1969)	132.2×60.4	改組第1回日展 (内閣総理大臣賞)
5		相忘	昭和54年(1979)	90.0×164.0	改組第11回日展
6		壯心	昭和62年(1987)	81.8×153.2	改組第19回日展
7		張裕釗・宮島大八 師生紀念碑碑陽(拓本) ※中国保定市	昭和61年(1986)	202.5×68.8	
8		張裕釗・宮島大八 師生紀念碑碑陰(拓本) ※中国保定市	昭和61年(1986)	188.8×83.5	
9		張裕釗・宮島詠士 師生紀念碑(拓本) ※中国鄂州市	平成6年(1994)	145.3×68.5	
10		張裕釗墓碑(拓本) ※中国鄂州市	平成6年(1994)	123.8×68.9	
11	宮島詠士	張廉卿詩(武昌一老…)		32.7×111.1	
12		天高氣清		34.0×123.7	
13		七言絶句(此中天地…)		28.7×40.3	
14		習作(故郷可朕…)		22.1×31.6	
15		於予乎改之		18.2×51.2	
16		延命十句觀音經	昭和4年(1929)	27.5×23.5	
17		蝸牛之天地		135.0×66.3	
18	張廉卿	七言対聯		各124.5×28.4	
19		八言対聯		各168.8×44.8	
20		少年学書…		21.1×28.4	

松本 〃